

活動記録書

開催日： 令和3年10月7日(木) 天候 曇	開催テーマ： 逗子の寺社
開催場所： 逗子市	記入者： 杉山茂
参加人数： 会 員 18 名 ビジター 0 名 計 18 名	
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース： 逗子・葉山駅(集合)―亀ヶ岡八幡宮―熊野社―久木神社―妙光寺―岩殿寺―逗子駅前広場(解散) 半年ぶりの探訪、曇り空、参加18名ちょっと寂しい定刻の出発。逗子市役所前を通り最初の探訪先亀ヶ岡八幡宮に到着、社名の由来として、社殿に向かい緩やかに高くなり亀の背中に似ている、鎌倉の鶴ヶ丘八幡宮と対比してとの説がある。祭神 応神天皇。 境内には市内各所から集められた庚申塔などの石塔がある。 次は熊野社(松本寺) 祭神 伊邪那岐命 伊邪那美命。 明治2年に熊野社は火災により全焼した際、廃仏毀釈運動により廃寺となった松本寺の建物を移築し社殿とした。後の火災でその社殿は焼失してしまい現在の社殿は再建されたものである、社前の手水鉢も松本寺のものであった。 逗子駅背後にある、山の根丘陵には山の根八十八穴と言われる古代の墓であった横穴が多数ある、その一部が社殿背後の山にある。 中高一貫校の女子校である聖和学園の前を通り、久木神社に到着。 明治7年久野原村と柏原村が合併久木村となり、同時に各字の鎮守が合祀され久木村総鎮守稲荷社が創建された。昭和45年久木神社と改称され現在に至っている。祭神 宇迦之御魂命。 元々この地には妙光寺持ちの草分稲荷があり、明治の神仏分離令により神社として独立した。久木村総鎮守稲荷社の社殿建立により、現在は久木神社の後ろに社殿がある。 妙光寺 松岡雅楽之助が父母の冥福を祈るため建立されたとする、日蓮宗のお寺、山号寺号法久山妙光寺は父母の法名に由来する。本尊 日蓮上人像。 松岡雅楽之助の父富永三郎左衛門は鎌倉公方足利持氏に仕えた御家人であったが、度重なる戦乱に嫌気がさし久野谷に遁世し、名も松岡富永とした。 江戸時代は名主であり、多くの土木工事を手がけ功績がある松岡家の前を通り岩殿寺に到着。 岩殿寺は養老6年(722)行基による創建と言われる古刹、板東三十三観音霊場第二番札所として知られている。寺号の由来は行基自ら刻んだ石の十一面観音像を安置した岩窟があたかも堂宇のように見えたためと伝えられている。鎌倉幕府の滅亡により一時衰退したが、江戸時代初期、長谷川長綱により再興された、このとき真言宗から曹洞宗に改宗された。本尊 十一面観音立像。 観音堂右にある池は泉鏡花が寄進したもの、逗子で療養していた泉鏡花は度々参詣をしていた。 巡礼古道と呼ばれる道が第一番札所(杉本寺)と結ばれていたが、大部分が開発により消滅している。 参加者殆どが長い石段を登り観音堂をお参りし、逗子駅前広場に無事到着解散した。	
参加者の状況・意見など ガイドは進行時間を気にしていたようであるが、結果はスムーズに進行していた。 休会していた西村さんが復帰された。	
次回の予定： テーマ 「金沢八景の道」 11月4日(木) 10時 金沢八景駅集合	